

U.S. Indicators

米国 新規受注などの牽引で拡大を示す水準回復(16年9月ISM製造業景気指数)

発表日：2016年10月3日(月)

～製造業は緩やかな回復基調を維持～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

ISM製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
16/01	48.2	51.5	50.2	45.9	43.5	50.0	43.0	33.5	47.0	51.0
16/02	49.5	51.5	52.8	48.5	45.0	49.7	48.5	38.5	46.5	49.0
16/03	51.8	58.3	55.3	48.1	47.0	50.2	51.0	51.5	52.0	49.5
16/04	50.8	55.8	54.2	49.2	45.5	49.1	50.5	59.0	52.5	50.0
16/05	51.3	55.7	52.6	49.2	45.0	54.1	47.0	63.5	52.5	50.0
16/06	53.2	57.0	54.7	50.4	48.5	55.4	52.5	60.5	53.5	52.0
16/07	52.6	56.9	55.4	49.4	49.5	51.8	48.0	55.0	52.5	52.0
16/08	49.4	49.1	49.6	48.3	49.0	50.9	45.5	53.0	52.5	47.0
16/09	51.5	55.1	52.8	49.7	49.5	50.3	49.5	53.0	52.0	49.0

(出所) ISM: the Institute for Supply Management

製造業景気指数は51.5 と前月比2.1%ポイント 上昇

16年9月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、51.5と前月比2.1%ポイント上昇し、拡大縮小の分岐点である50を再び上回った(市場予想中央値50.2、筆者予想52.5)。8月の低下が7月にかけて高い水準だった反動等による一時的な動きとの見方が裏付けられた。米国製造業の活動は、国内需要が堅調に推移するなかで、ドルの下落や原油価格の上昇、石油掘削リグの稼働数の増加、在庫調整の進展等を背景に、緩やかな拡大基調を維持している。

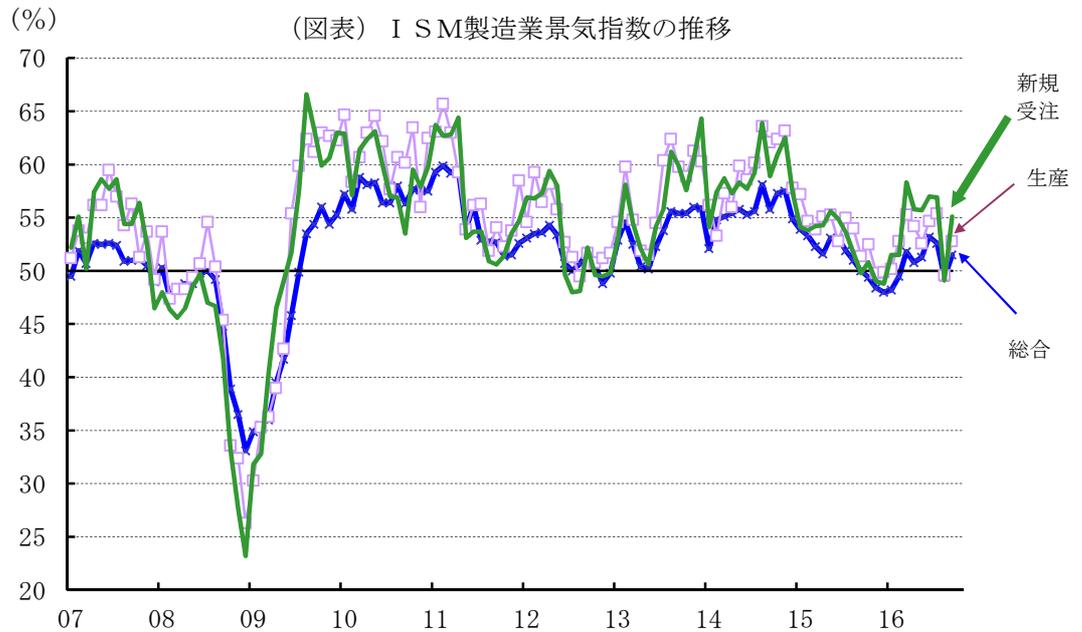
総合指数を構成する項目では、入荷遅延が前月から低下したが、新規受注、生産、雇用、在庫が上昇した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、入荷遅延(前月比▲0.12%p)が押し下げ寄与となった一方で、新規受注(前月比+1.20%p)、生産(前月比+0.64%p)、雇用(前月比+0.28%p)、在庫(前月比+0.10%p)が押し上げ寄与となり、総合指数は前月比2.1%ポイント上昇した。重要な新規受注が55.1(前月49.1)、生産が52.8(前月49.6)と急激に上昇し、全体を大きく押し上げた。

総合(全18業種、下線は拡大、縮小が2カ月以上続いたことを示す)で拡大した業種は、非鉄、家具・同関連、繊維、食品・飲料・タバコ、コンピューター・電子機器、その他製造業、紙製品の7業種(前月6業種)に増加した一方で、縮小した業種は、印刷・関連サポート活動、石油・石炭、木材製品、アパレル、輸送機器、一般機械、プラスチック・ゴム、一次金属、加工金属、化学製品、電気設備・部品の11業種(11業種)と、前月と変わらず多いまま。ただし、縮小を示した業種でも、化学「国内や海外での売上はわずかに増加した」、一次金属「事業活動は依然強い」、加工金属「売上は増加し、16年の残りの見通しは良い」、一般機械「事業環境全般は売上や受注の増加によってゆっくりと改善している」、プラスチック・ゴム「活気のなかった前月から需要が増加した」と前向きな報告が多く、早晚拡大に転じるとみられる。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

今後、製造業景気指数は緩やかな拡大を示す水準で推移する公算

今後、依然として高い水準のドル実効レートや世界的な需要鈍化の影響を受けるものの、所得等の拡大を背景に個人消費を中心とした国内需要は堅調さを維持するとみられ、新規受注、生産の拡大は持続すると予想される。以上より、今後のISM製造業景気指数は、在庫調整の続く業種が足かせとなるものの、国内最終需要の増加に支えられる形で、製造業の緩やかな拡大を示す水準で推移すると予想される。



(出所) ISMデータより当社加工

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。